



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社コーセー

コード番号 4922 URL <https://www.kose.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 一俊

問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 中田 仁典 TEL 03-3273-1511

四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 2019年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	170,773	6.1	28,314	△7.8	28,046	△14.0	18,192	△18.1
2019年3月期第2四半期	160,996	11.3	30,712	30.9	32,610	36.2	22,214	46.0

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 17,816百万円 (△17.7%) 2019年3月期第2四半期 21,645百万円 (30.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	318.92	—
2019年3月期第2四半期	389.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	306,897	237,013	71.7	3,859.49
2019年3月期	300,162	224,841	69.6	3,660.77

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 220,158百万円 2019年3月期 208,823百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	85.00	—	95.00	180.00
2020年3月期	—	95.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	95.00	190.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	352,000	5.7	54,000	3.0	54,700	1.3	37,100	0.3	650.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	60,592,541株	2019年3月期	60,592,541株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	3,549,045株	2019年3月期	3,549,024株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	57,043,510株	2019年3月期2Q	57,043,634株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）

セグメントの名称	前第2四半期 累計		当第2四半期 累計		前年同期比較	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
化粧品事業	121,461	75.4	131,918	77.3	10,456	8.6
コスメタリー事業	38,172	23.7	36,732	21.5	△1,440	△3.8
その他	1,361	0.9	2,122	1.2	760	55.8
売上高計	160,996	100.0	170,773	100.0	9,776	6.1

区分	前第2四半期 累計		当第2四半期 累計		前年同期比較	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
営業利益	30,712	19.1	28,314	16.6	△2,398	△7.8
経常利益	32,610	20.3	28,046	16.4	△4,563	△14.0
親会社株主に帰属する四半期純利益	22,214	13.8	18,192	10.7	△4,021	△18.1

① 概況

当第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）における日本経済は、台風や豪雨などの相次ぐ自然災害に見舞われたものの、雇用・所得環境の改善等に加え、消費税増税前の駆け込み需要などもあり、緩やかな回復基調で推移しました。化粧品業界におきましては、2019年度の経済産業省化粧品出荷統計（暦年）によりますと、販売個数・販売金額ともに前年と比べ増加しました。また、海外において、当社グループが主に事業展開をしているアジア・米国経済につきましては、アジアでは一部で景気減速もみられましたが、米国では景気回復の動きが続きしました。

このような市場環境の中、当社グループは、創業80周年に向けて更なる成長ステージを目指した中長期ビジョン「VISION2026」を掲げ、企業の成長を支える強い経営基盤をベースとしながら、そのリソースを最大限に活用し、独自の価値創造を絶えず行っていくことにより、グローバルかつボーダレスな成長を目指してきました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、北米を除く全ての地域で増収となった結果、売上高は前年同期比6.1%増の170,773百万円（為替の影響を除くと前年同期比6.6%増）となり、第2四半期としては過去最高を7期連続で更新しました。なお、連結売上高に占める海外売上高の割合は29.9%となりました。

利益につきましては、売上原価率の上昇に加え、マーケティング費用の積極的な投下等により販管費が増加した結果、営業利益は28,314百万円（前年同期比7.8%減）となり、第2四半期としては6期ぶりの減益となりました。経常利益は為替影響等により28,046百万円（同14.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は18,192百万円（同18.1%減）となりました。

② セグメント別の状況

(a) 化粧品事業

区分		前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	増減額	増減率 (%)
外部顧客に対する売上高	百万円	121,461	131,918	10,456	8.6
セグメント間の売上高	百万円	—	—	—	—
売上高計	百万円	121,461	131,918	—	—
営業利益	百万円	28,647	30,438	1,791	6.3
営業利益率	%	23.6	23.1	—	—

化粧品事業につきましては、ハイプレステージ領域において、最高級ラインをリニューアルした「デコルテ」が牽引したことに加え、新製品の販売が好調だった㈱アルビオンが伸長したほか、欧州での販路を拡大した米国タルト社は前年並みとなりました。プレステージ領域におきましては、メイクアップブランド「エスプリーク」や高効能特化型ブランド「ONE BY KOSÉ」などの売上が拡大しました。これらの結果、当事業の売上高は131,918百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益は30,438百万円（同6.3%増）となりました。

(b) コスメタリー事業

区分		前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	増減額	増減率 (%)
外部顧客に対する売上高	百万円	38,172	36,732	△1,440	△3.8
セグメント間の売上高	百万円	487	—	—	—
売上高計	百万円	38,659	36,732	—	—
営業利益	百万円	4,152	446	△3,705	△89.3
営業利益率	%	10.7	1.2	—	—

コスメタリー事業につきましては、お客さまのニーズに応えた製品開発に努めるとともに効果的な広告宣伝・販売促進活動を実施しましたが、前期におけるメイクブランドの販売ライセンス終了などの影響により、当事業の売上高は36,732百万円（前年同期比3.8%減）、営業利益は446百万円（同89.3%減）となりました。

(c) その他

区分		前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	増減額	増減率 (%)
外部顧客に対する売上高	百万円	1,361	2,122	760	55.8
セグメント間の売上高	百万円	371	313	—	—
売上高計	百万円	1,733	2,435	—	—
営業利益	百万円	745	647	△98	△13.2
営業利益率	%	43.0	26.6	—	—

その他の事業につきましては、アメニティ製品の販売やOEM生産の受注が増加した結果、売上高は2,122百万円（前年同期比55.8%増）、営業利益は647百万円（同13.2%減）となりました。

③ 地域別売上高（外部顧客に対する売上高）の状況

	前第2四半期 累計		当第2四半期 累計		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
日本	118,541	73.6	119,775	70.1	1,233	1.0
アジア	23,249	14.4	31,367	18.4	8,117	34.9
北米	17,497	10.9	16,721	9.8	△775	△4.4
その他	1,707	1.1	2,908	1.7	1,201	70.4
売上高計	160,996	100.0	170,773	100.0	9,776	6.1

<日本>

日本市場につきましては、台風や豪雨などの相次ぐ自然災害に見舞われましたが、各ブランドからの新製品投入や積極的なプロモーション展開をきっかけに、通常の需要に加え、消費税率引き上げ前の駆け込み需要も取り込むなど、主要な販売チャネルでプラス成長となりました。ハイプレステージ領域のブランドを中心に展開する百貨店チャネルにおいては、インバウンド需要が前年に比べ減少しましたが、国内のお客さまへの販売は堅調に推移しました。また、ドラッグストアチャネルやGMSチャネルでは、新たなマーケティング戦略を展開した総合化粧品ブランド「インフィニティ」が好調だったことに加え、メイクアップブランド「エスブリーク」、高効能特化型ブランド「ONE BY KOSÉ」等のプレステージ領域のブランド、ヘアケアブランド「スティーブンノル ニューヨーク」等のコスメタリー事業のブランドが好調に推移しました。これらの結果、売上高は119,775百万円（前年同期比1.0%増）となりました。

<アジア>

アジア市場につきましては、各国における既存チャネルの育成とともに、免税店やEコマースなど新販路の開拓を強化することによりインバウンド市場との連携を図るなど、グローバルかつボーダレスなお客さまづくりを推進した結果、主要な国と地域でプラス成長となりました。とりわけ、重点グローバルブランドの「デコルテ」や㈱アルビオンなどハイプレステージ領域のブランドがアジア全域で売上を拡大したほか、免税チャネルの高成長が継続した韓国、Eコマースの成長が著しい中国の売上が伸長しました。これらの結果、売上高は31,367百万円（同34.9%増）となりました。

<北米>

北米市場につきましては、米国タルト社が 카테고리ごとの製品展開を強化したほか、10代から20歳前後の「Z世代」をターゲットとした新ブランドの育成や、配合成分や環境への影響にもこだわった「Clean Beauty」市場への対応など、新たな顧客層の拡大に取り組みました。しかしながら、プレステージメイク市場全体の厳しい環境の影響などもあり、売上高は16,721百万円（同4.4%減）となりました。

<その他>

その他の地域につきましては、米国タルト社による欧州展開が順調に推移した結果、売上高は2,908百万円（同70.4%増）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年4月26日に発表しました通期連結業績予想は変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	94,385	89,992
受取手形及び売掛金	44,773	47,698
商品及び製品	34,121	35,758
仕掛品	3,005	3,677
原材料及び貯蔵品	23,655	27,318
その他	5,383	3,953
貸倒引当金	△83	△84
流動資産合計	205,241	208,314
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	40,960	44,761
減価償却累計額	△21,303	△21,965
建物及び構築物（純額）	19,657	22,796
機械装置及び運搬具	17,012	17,769
減価償却累計額	△12,299	△12,724
機械装置及び運搬具（純額）	4,713	5,044
工具、器具及び備品	39,199	40,938
減価償却累計額	△32,097	△33,328
工具、器具及び備品（純額）	7,101	7,610
土地	17,566	17,553
リース資産	1,954	1,987
減価償却累計額	△1,117	△1,236
リース資産（純額）	837	750
建設仮勘定	7,020	7,284
有形固定資産合計	56,896	61,040
無形固定資産		
ソフトウェア	2,296	2,498
のれん	6,675	6,092
その他	6,697	6,225
無形固定資産合計	15,669	14,816
投資その他の資産		
投資有価証券	11,664	12,654
繰延税金資産	7,574	6,697
その他	3,361	3,607
貸倒引当金	△245	△233
投資その他の資産合計	22,355	22,726
固定資産合計	94,921	98,583
資産合計	300,162	306,897

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,764	9,590
電子記録債務	19,086	18,936
短期借入金	600	721
リース債務	228	236
未払金	14,371	9,124
未払費用	10,716	9,950
未払法人税等	7,661	5,309
未払消費税等	632	1,818
返品調整引当金	2,132	2,147
その他	913	3,020
流動負債合計	66,107	60,856
固定負債		
リース債務	837	753
役員退職慰労引当金	2,846	3,262
退職給付に係る負債	4,435	3,846
その他	1,094	1,165
固定負債合計	9,213	9,028
負債合計	75,321	69,884
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,848	4,848
資本剰余金	—	15
利益剰余金	207,821	220,594
自己株式	△9,102	△9,103
株主資本合計	203,566	216,354
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,750	4,070
為替換算調整勘定	1,781	159
退職給付に係る調整累計額	△275	△425
その他の包括利益累計額合計	5,256	3,804
非支配株主持分	16,018	16,854
純資産合計	224,841	237,013
負債純資産合計	300,162	306,897

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）
売上高	160,996	170,773
売上原価	40,799	44,304
売上総利益	120,196	126,468
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	9,257	10,948
販売促進費	27,373	31,027
運賃及び荷造費	6,742	7,600
給料及び手当	24,315	25,668
退職給付費用	629	391
法定福利費	3,611	3,781
減価償却費	1,812	1,989
その他	15,742	16,746
販売費及び一般管理費合計	89,483	98,153
営業利益	30,712	28,314
営業外収益		
受取利息	176	236
受取配当金	103	75
受取手数料	—	36
還付消費税等	—	185
特許実施許諾料	20	12
為替差益	1,420	—
補助金収入	—	35
雑収入	272	138
営業外収益合計	1,992	718
営業外費用		
支払利息	1	1
支払手数料	6	6
投資事業組合運用損	54	32
為替差損	—	924
雑損失	31	21
営業外費用合計	94	986
経常利益	32,610	28,046
特別利益		
固定資産売却益	8	10
投資有価証券売却益	1	0
関係会社株式売却益	925	—
事業整理益	—	115
特別利益合計	935	125
特別損失		
固定資産処分損	289	187
その他	—	4
特別損失合計	289	191
税金等調整前四半期純利益	33,256	27,981
法人税、住民税及び事業税	9,841	7,900
法人税等調整額	77	773
法人税等合計	9,919	8,674
四半期純利益	23,337	19,307
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,123	1,114
親会社株主に帰属する四半期純利益	22,214	18,192

（四半期連結包括利益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）
四半期純利益	23,337	19,307
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	714	318
為替換算調整勘定	△2,444	△1,651
退職給付に係る調整額	38	△157
その他の包括利益合計	△1,691	△1,490
四半期包括利益	21,645	17,816
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,546	16,739
非支配株主に係る四半期包括利益	1,098	1,076

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	33,256	27,981
減価償却費	3,651	4,068
のれん償却額	396	401
貸倒引当金の増減額（△は減少）	30	△7
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	198	416
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△617	△809
その他の引当金の増減額（△は減少）	△7	47
固定資産処分損益（△は益）	280	177
受取利息及び受取配当金	△279	△311
支払利息	1	1
為替差損益（△は益）	△761	332
投資有価証券売却損益（△は益）	△1	△0
関係会社株式売却損益（△は益）	△925	—
投資事業組合運用損益（△は益）	54	32
事業整理益	—	△115
売上債権の増減額（△は増加）	1,963	△3,217
たな卸資産の増減額（△は増加）	△7,429	△6,409
仕入債務の増減額（△は減少）	3,348	△117
その他の資産の増減額（△は増加）	352	2,082
その他の負債の増減額（△は減少）	△4,876	△1,369
その他	—	4
小計	28,635	23,186
利息及び配当金の受取額	281	343
利息の支払額	△1	△4
法人税等の支払額	△10,516	△10,165
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,398	13,360
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,843	△7,878
定期預金の払戻による収入	4,014	8,023
有形固定資産の取得による支出	△4,933	△8,815
有形固定資産の売却による収入	21	10
有形固定資産の除却による支出	—	△66
無形固定資産の取得による支出	△1,099	△939
投資有価証券の取得による支出	△1,094	△561
投資有価証券の売却及び償還による収入	2	0
子会社株式の取得による支出	—	△5
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	678	—
貸付けによる支出	—	△153
投資その他の資産の増減額（△は増加）	△439	△163
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,694	△10,549

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	—	124
自己株式の純増減額（△は増加）	△3	△0
配当金の支払額	△4,848	△5,419
非支配株主への配当金の支払額	△263	△205
子会社の自己株式の取得による支出	—	△19
その他	△133	△118
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,249	△5,638
現金及び現金同等物に係る換算差額	△62	△1,396
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	6,392	△4,224
現金及び現金同等物の期首残高	63,883	64,264
現金及び現金同等物の四半期末残高	70,276	60,040

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリー 事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	121,461	38,172	159,634	1,361	160,996	—	160,996
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	487	487	371	858	△858	—
計	121,461	38,659	160,121	1,733	161,854	△858	160,996
セグメント利益	28,647	4,152	32,799	745	33,544	△2,832	30,712

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業・不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、以下のとおりであります。

（単位：百万円）

セグメント間取引消去	59
各報告セグメントに配分していない全社費用	△2,891

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

3. 地域に関する売上高情報

（単位：百万円）

日本	アジア	北米	その他	計
118,541	23,249	17,497	1,707	160,996

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリー 事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	131,918	36,732	168,651	2,122	170,773	—	170,773
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	313	313	△313	—
計	131,918	36,732	168,651	2,435	171,086	△313	170,773
セグメント利益	30,438	446	30,884	647	31,531	△3,217	28,314

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業・不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

セグメント間取引消去	27
各報告セグメントに配分していない全社費用	△3,245

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

3. 地域に関する売上高情報

(単位:百万円)

日本	アジア	北米	その他	計
119,775	31,367	16,721	2,908	170,773